

# トルコ中銀が利上げも、リラは最安値更新

## ポイント① トルコ中銀が政策金利を15%へ

6月22日、トルコ中央銀行は金融政策決定会合で政策金利である1週間物レポレート<sup>1</sup>を8.5%から15%へ引き上げました。通貨リラの暴落を食い止めるため、これまでの利下げ路線を転換し、利上げに動いたものと見られますが、事前の市場予想が20%程度への利上げ予想だったことなどを背景に、22日のリラは対米ドルで5%以上下落し、最安値を更新しました。

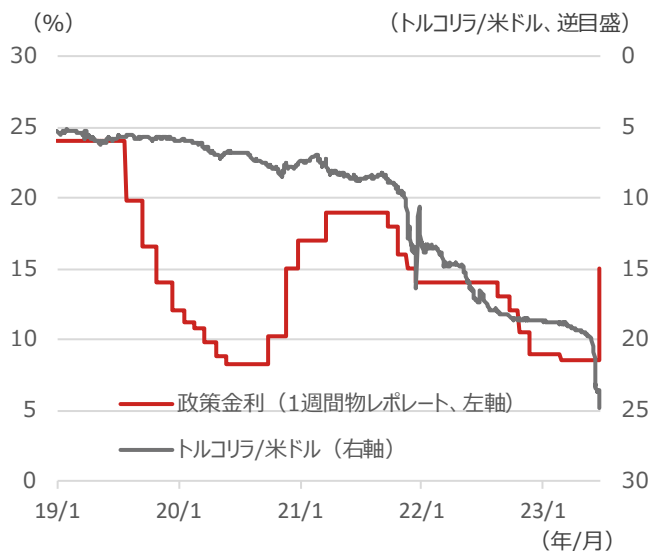
## ポイント② エルドアン新内閣が閣僚を刷新

5月28日のトルコ大統領選挙の決選投票で再選されたエルドアン大統領は、新内閣の閣僚を刷新しました。財務相に金融市場の信頼が厚いシムシェキ氏を登用（2018年まで副首相を務める）、同氏は任命直後に「合理的な経済政策への回帰」、つまりは、「大幅な利上げ」を示唆していました。また、中銀総裁には女性のエルカン氏を登用、同氏は米大学で博士号を取得し、米大手金融機関などで活躍していました。金融・経済の国際的な専門家を配置したことで、経済政策転換への市場の期待が高まっていました。

## ポイント③ 金融引き締めプロセスを開始

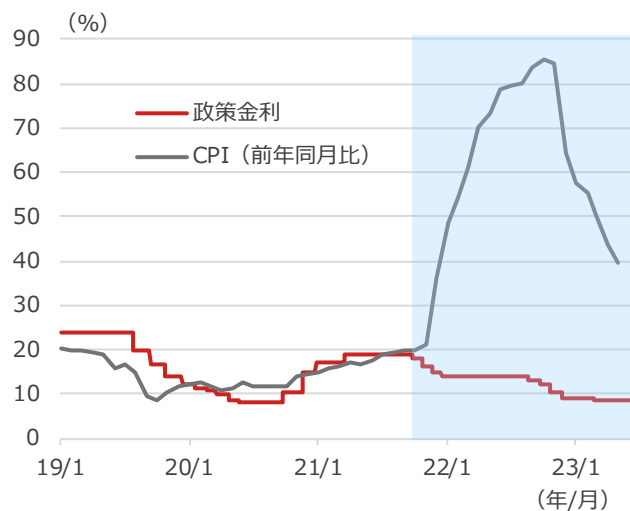
経済成長を重視するエルドアン大統領は、「金利は悪の根源」と主張し、経済学の定石とは逆にインフレが高進する局面でも利下げを強行していましたが（右下図の水色シャドー）、今回の利上げは、こうした政策を転換する意思を示すこととなりました。トルコ中銀は声明文で「金融引き締めプロセスを開始した」と説明しており、15%への利上げがプロセスの第一歩であることを示唆しています。今回は市場の失望を誘ったものの、この先に引き締めプロセスを継続できるかどうかを見守る必要があります。

トルコの政策金利と通貨リラの推移



期間：2019年1月1日～2023年6月22日、日次  
(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成

トルコの政策金利とCPIの推移



期間（政策金利）：2019年1月1日～2023年6月22日、日次  
期間（CPI）：2019年1月～2023年5月、月次  
※ CPI：消費者物価指数  
(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成

重要 イベント	7月5日	トルコ消費者物価指数（6月）
	7月20日	トルコ金融政策発表

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全体の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。